

「新幹線電車の交番検査周期見直しについて」の提案を受ける!

提案要旨は以下の通りです

1. 対象系式

- ・ E3系 (とれいゆ・現美新幹線)、E4系、E926形を除く新幹線電車全系式

2. 見直し内容

- ・ 交番検査周期を、「30日または3万kmを超えない期間」を「6万kmを超えない期間」とする

3. 移行時期と移行方法

- ・ 平成29年4月1日移行に交番検査を施行した車両より、順次実施する。

4. 検査周期見直しに際して改訂する事項

- ・ 関係する社内規定を改定する。

新幹線のメンテナンスは仕業、交番、台検、全検が一体となって成り立っている!
グループ会社の労働条件の向上と、JR本体の技術力向上の実現が必要だ!



提案時における議論の特徴点は以下の通りです

組合：日数での基準をやめて、6万kmまで周期を延伸する根拠と裏付けはなにか。

会社：電子機器の導入や技術革新等で信頼性が向上している。速度向上で日車キロが伸びた。テストカーで9万kmまで走り込んでデータを蓄積した結果判断した。

組合：E4系は除外された根拠はなにか。

会社：テストカーで技術的には交番検査は延伸可能との結論を得た。だが、交番検査と同時に実施している車軸の磁粉探傷は、6万kmまで伸ばせないという結果だった。

組合：摩耗品や消耗品の対応はどのように考えているのか。

会社：これまで見越して交検ごとに対応していた部分がある。ライニングやフィルター等で必要な物は、交検の他に仕業検査や全般清掃の際に臨時作業を組んで対応していく。

組合：単純に作業量が半分になるとは思えない。交検や仕業の体制強化は考えているか。

会社：車両運用は大きく変わらない。清掃周期も変更しない。交検に付随する業務は減るが、上回り検査、サービス機器などいわゆるC故障対応等を考えている。

組合：グループ会社の体力とJR本体の技術力を維持向上するために何をしていくのか。

会社：人材育成が大事である。産み出される要員で世代交代や交番検査組の多能化など、若年社員の強化、総車セとの技術交流、技管の世代交代など、車セの中で考えていく。

職場からの議論を積み上げて、新幹線の安全を守りぬこう!